

守山まるごと活性化 議事要旨

会議名： 令和5年度第2回まるごと活性化企画委員会
日時： 令和6年3月21日（木）午後3時30分から4時30分まで
場所： 河西会館 大会議室
出席者： 学区長（Dプロジェクト会長）、幹事（Dプロジェクト会員）
Aプロジェクト部会長、Bプロジェクト部会長、Cプロジェクト部会長
出席者（行政）： 河西会館職員2名

議題

1. 令和5年度事業報告および決算見込について
2. 令和6年度事業計画（案）および予算（案）について
3. 守山まるごと活性化プラン終了に伴う支援の方向性について
4. 守山まるごと活性化プランの成果物一覧の確認について

会議要旨

1. 令和5年度事業計画および決算見込について

- ・概ね予定どおり事業を実施できた。
- ・決算見込について、事業Cの予算残額から、河西魅力情報マップの増刷を提案する。

【意見等】

- ・事業Cの予算残額について、河西魅力情報マップの増刷をすることで決定した。

2. 令和6年度事業計画（案）および予算（案）について

- ・市交付金の考え方にに基づき、これまで同様に計画および予算案を作成した。

3. 守山まるごと活性化プラン終了に伴う支援の方向性について

- ・令和6年度以降も継続して事業に取り組むことを表明されたプロジェクトに対し、1プロジェクトにつき100,000円を限度として、「守山市学区まちづくり活動交付金」の交付額算定に新たに「プロジェクト数割」を追加して支援が行われる。
- ・各プロジェクトの取組の成果や交付金の執行状況等を踏まえ、3年後（令和8年度末）に見直しが入る。
- ・令和6年4月自治会長会にて、市より説明が行われる予定。

【意見等】

- ・「まるごと活性化」としては終了となるが、令和6年度以降、推進委員会もなくなるということか。
→「まるごと活性化推進委員会」は無くなる。しかし事業を継続していくためにも、ある程度の組織は必要。
- ・これまではプロジェクト毎に事業を実施してきたが、今後は、プロジェクトの枠に縛られず、プロジェクト間で積極的に連携していきたい。それによって、結果的には若い世代も含めて河西の輪を広げていきたい。
- ・（プロジェクト間連携の例）Aプロジェクトの北川原公園ふれあい花壇の整備について、その技術をもって学区内の他の場所での自治会支援できるか。Dプロジェクトの歩こう会について、近江妙蓮の開花時期にあわせて企画し、かつ対象を子ども向けにして参加者の輪を広げる、など意見が出た。
- ・全体の事業について議論するため、企画委員会の場は残したい。
- ・予算について、すべての事業費を同額にする必要はなく、例年の執行状況を見てプロジェクト毎に適切な予算を割り振ってはどうか。
→市交付金の考え方はあくまでも、各100,000円のプロジェクト数割であるが、これまで同様、プロジェクト間で

4. 守山まるごと活性化プランの成果物一覧の確認について

・市で全学区の成果物を取りまとめる予定。については、内容の確認をお願いしたい。

【意見等】

- ・Cプロジェクト関連で、「鳩の森公園樹木銘板」「野鳥紹介看板」を追記する。
- ・Aプロジェクト関連で、「北川原公園ふれあい花壇」を追記する。

5. その他

【意見等】

- ・Dプロジェクトの廃止に伴い、新体制を組む必要があるため、まるごと活性化推進委員会の委員全員に対し、意向確認を行う。令和6年度自治会長（新任含む）については、必ずどこかのプロジェクトに所属してもらう。
 - ・意向確認により、委員を辞退する方も複数出てくると想定し、また、プロジェクト間の連携を図るため、令和6年度自治会長以外で継続の意向を確認できた方については、プロジェクト共通のボランティアとして登録する。ボランティアの方へは全てのプロジェクト事業について開催案内をする。
 - ・自治会長経験者以外の一般のボランティアの募集も検討する。
- 4月自治会長にてボランティア募集を呼びかけてはどうか。
- ・各プロジェクトリーダーはいつ決めるか。
- 4月中に全てのプロジェクトで第1回会議を開き、決定する。全て決定次第、早急に企画委員会を開催し、方針について話し合う。

決定事項

- ・令和5年度予算残額から10万円程度で河西魅力情報マップの増刷を行い、会計を締める。
- ・新組織体制について、まるごと活性化推進委員会の委員全員に対し、継続・辞退の意向確認を取る。令和6年度自治会長（新任含む）については、必ずどこかのプロジェクトに所属してもらう。新年度自治会長以外の方については、継続する場合、全プロジェクト共通のボランティアとして登録する。
- ・4月自治会長会にて、一般のボランティアの呼び掛けを行う。

次回以降について

- ・4月中に全てのプロジェクト会議を開催し、プロジェクトリーダーを決定次第、企画委員会を開催し、方針検討する。